

香南市の
公共交通のこれまで

香南市の「むかし」

過去、香南市内には旧土佐電気鉄道(株)の鉄道:安芸線(高知市と安芸市を結ぶ路面電車)と路線バスが運行しており、主として民間の交通事業者が支えていました。しかし、自動車の普及等で徐々に利用者は減少していき、やがて廃線・廃止となりました。

鉄道の安芸線	路線バス
■昭和38年…約320万人	■東川線…昭和45年廃止
■昭和47年…約150万人	■西川線…平成14年廃止
■昭和49年…廃線	■野市・龍河洞線…平成16年廃止

香南市の「いま」

旧香我美町、旧夜須町では、民間バスの廃止路線にかわる手段として町営バスの運行を開始し、平成18年の合併後は、市内全域を走る香南市営バスとして運行を開始し現在に至っています。鉄道は平成14年に土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線が開通し、高知市と安芸市を結ぶ路線バスの安芸線は平成29年にとさでん交通(株)から高知東部交通(株)に移管されて現在運行しています。

クルマとときとき公共交通

未来へつなぐために!

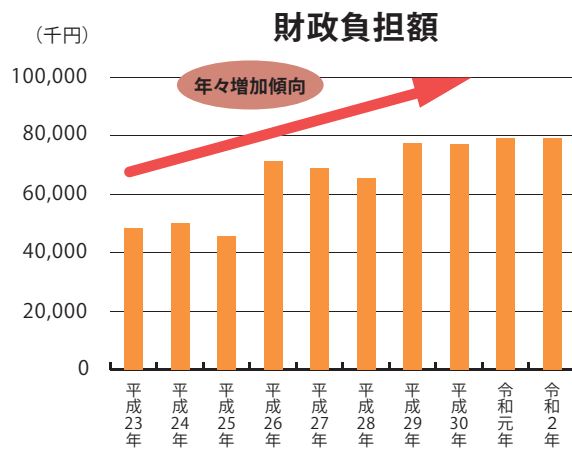
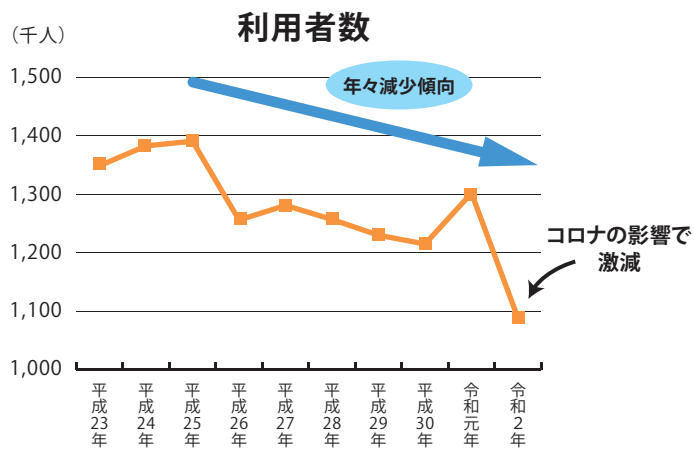
いつもと違う景色で楽しい!

香南市民の生活を支えている公共交通。しかし、自動車の普及や人口の減少、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者は年々減少し、公共交通を取り巻く環境は厳しくなっています。
公共交通を未来へつないでいくために、私たちが「いま」できることを考えてみましょう。

知っ得情報
バス停まで遠いから利用が難しい?
市営バスは路線上であればバス停がないところでも乗り降りできる「フリー乗降」サービスがあります(駐停車禁止場所や運転手が安全ではないと判断した場合などは乗り降りできません)。

現 在、土佐くろしお鉄道(株)ごめん・なはり線と高知東部交通(株)安芸線は運行経費のすべてを運賃収入では賄うことができないため、足りない収入を国や県、市町村が補助しています。また、香南市営バスは市が運行しているため、運行に必要な経費は市が負担しています。利用者の減少等により、その支出は年々増加傾向であり、今後この傾向が続くと予想されています。過去10年間で利用者数は約20%減少しており、財政支出は約70%増加しています。また令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によって利用者が大幅に減少しています。

利用者数と財政負担額



※上記データは、香南市営バス、土佐くろしお鉄道(株)ごめん・なはり線、高知東部交通(株)安芸線の合算 ※平成29年9月まではとさでん交通(株)

香 南市の公共交通は鉄道、バス、タクシーにより形成されています。鉄道は市内の東西に伸びる土佐くろしお鉄道(株)ごめん・なはり線があり、バス路線は高知東部交通(株)安芸線が高知市から安芸市を結ぶかたちで市内を運行しています。また、市が運行する香南市営バスは、のいち駅と夜須駅を起点・終点とした14路線を、スーパーや病院、公共施設などを經由するように運行しており、登下校の時間帯はスクールバス(香我美学校区と夜須学校区)としても運行しています。その他にもタクシー事業者が3社あり、これらの公共交通機関は市民の皆さんの日々の移動手段として幅広く利用されています。

しかし近年、公共交通を取り巻く環境は厳しくなっています。公共交通はクルマを運転することが困難な高齢者や障害のある方、免許を取ることができない子どもたちなどにとって、日々の生活に不可欠



香南市の公共交通

知っ得情報
通勤お試しキャンペーン
ごめん・なはり線での通勤をお考えの方に、6日間使用できる乗車券をお送りしています(要申込)。列車通勤は時間が正確、乗車中の時間を活用できる等のメリットがあります。
問い合わせ先:土佐くろしお鉄道(株)安芸総合事務所 ☎0887-34-8805(平日9時~17時)

高知東部交通バス
香南市営バス
なものです。厳しい環境のなかでも、そのような方々の移動を支えていくために、また、いつかクルマに乗れなくなっても安心して住み続けることができるように、誰もが利用しやすい公共交通のかたちを作っていくことが今後の香南市の課題となっています。